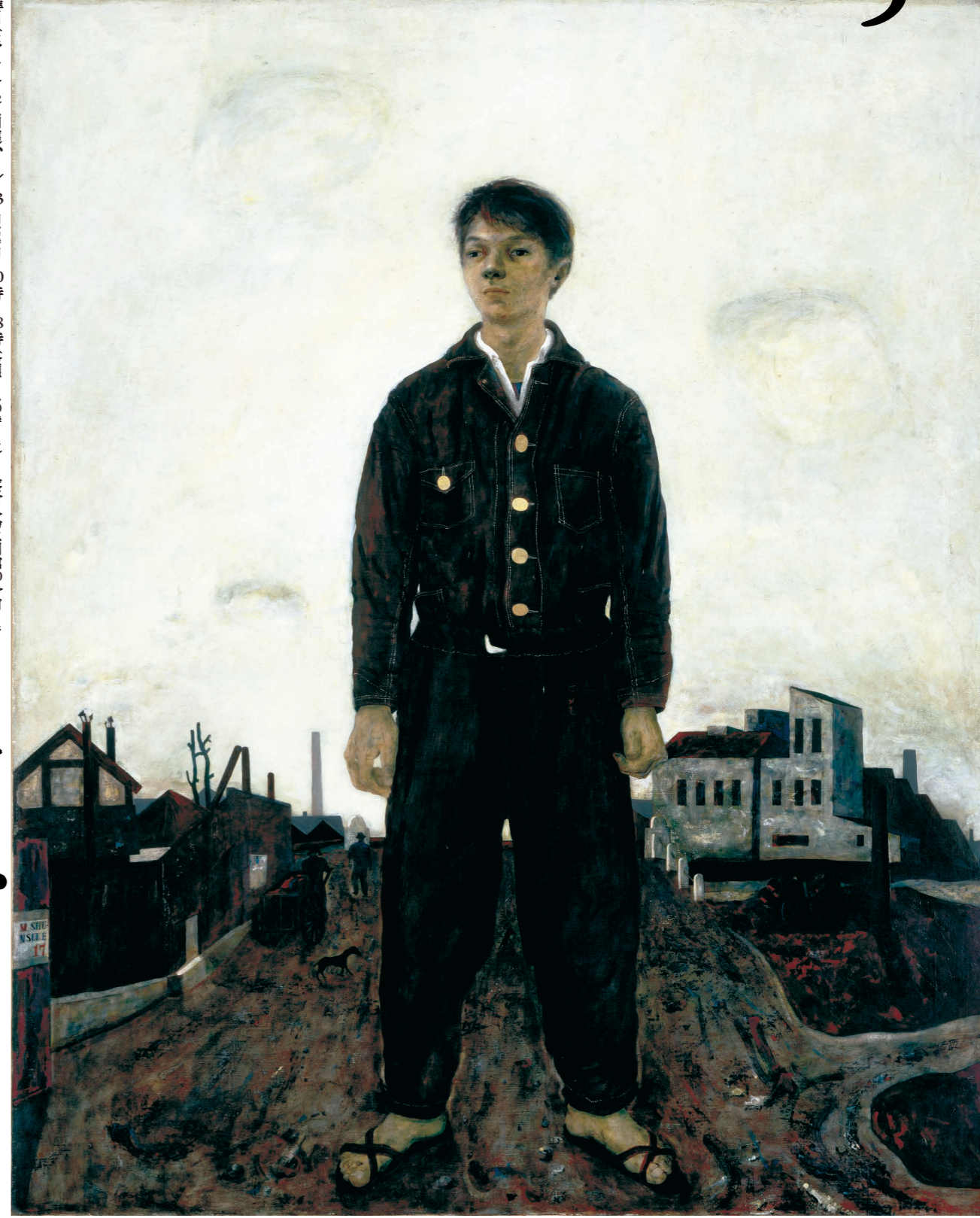


Shinjuku: the City of Modern Art

新宿の街のモダンアート Shinjuku: the City of Modern Art

開館50周年記念
休館日＝月曜日(ただし1/12は開館、1/13開館時間10時-18時(金曜日は20時まで) *最終入場は閉館30分前まで

2026
1.10 >>> 2.15 sun.
主催＝SOMPO美術館、東京新聞
特別協賛＝SOMPOホールディングス
特別協力＝損保ジャパン 後援＝新宿区、TOKYO MX



中村彝、佐伯祐三から、松本竣介、宮脇愛子まで。新宿ゆかりの芸術家たちの半世紀にわたる軌跡。

1976年7月、SOMPO美術館は新宿に開館しました。このたび、SOMPO美術館の開館50周年を記念し、新宿をテーマとした展覧会を開催いたします。

日本の近代美術(モダンアート)の歴史は、新宿という地の存在なくしては語れません。明治時代末期の新宿には新進的な芸術家が集まりました。そして、新宿に生きる芸術家がさらに芸術家を呼び込み、近代美術の大きな拠点の一つとなりました。本展は、中村彝、佐伯祐三から松本竣介、宮脇愛子まで、新宿ゆかりの芸術家たちの約半世紀にわたる軌跡をたどる、新宿の美術館として初めての試みです。

会期中のイベント

内容の詳細は美術館ホームページをご確認ください

学芸員のギャラリートーク 自由参加

1月16日(金)、1月23日(金) いずれも18:00-18:40

本展担当学芸員が展覧会の見どころや出品作品について展示室で解説を行います(展示フロアを移動しながらマイクを使用して説明します)

参加方法＝時間になりましたら5階展示室入口へお集まりください

参加費＝無料 ※ただし、本展への入場が必要です

ギャラリー★で★トーク・アート 要申込

2月9日(月) 14:00-16:00

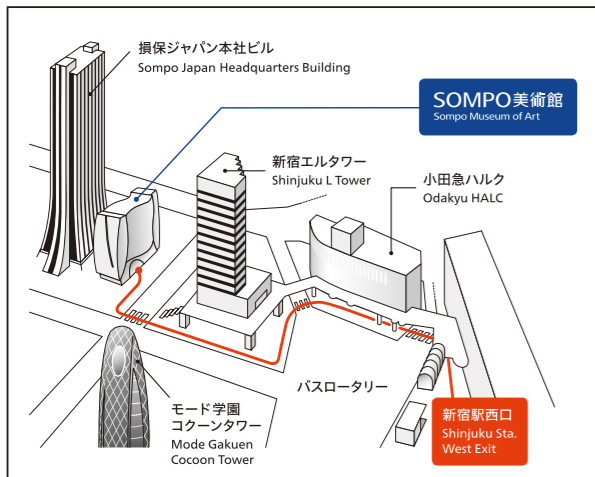
休館日に貸し切りの美術館で、ボランティアガイドと話しをしてみませんか? 作品解説を聞くのではなく、参加者が作品を見て、感じて、思うことを話しながら楽しむ参加型の作品鑑賞会です(定員30名)

参加方法＝web申込/2025年12月19日(金) 10:00より美術館ホームページにて受付開始

参加費＝1,500円(税込)、高校生以下無料 ※ご招待券、ご招待状、年間パスポート、割引等は適用できません

収蔵品コーナー

東郷青児《超現実派の散歩》
フィンセント・ファン・ゴッホ《ひまわり》



The Sompo Museum of Art opened in Shinjuku in July 1976. To celebrate our 50th anniversary, we will hold an exhibition themed on Shinjuku.

A discussion on the history of modern Japanese art would not be complete without mention of Shinjuku of Tokyo. Up-and-coming artists began to gather in Shinjuku in the late Meiji period, and the artists who lived there in turn attracted even more artists to the area. This influx of artists turned Shinjuku into a major center of modern art. This exhibition represents the first attempt by an art museum in Shinjuku to trace the trajectory of artists associated with the neighborhood, featuring works created over the course of roughly half a century by artists like Nakamura Tsune, Saeki Yuzo, Matsumoto Shunsuke, and Miyawaki Aiko.

観覧料(税込)	年齢は入場時点	事前購入券	当日券
一般	(26歳以上)	1,400円	1,500円
25歳以下		1,000円	1,100円
高校生以下			無料

身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(マイロIDも可)を提示のご本人とその介助者1名は無料、被爆者健康手帳を提示の方はご本人のみ無料
・25歳以下の方は生年月日が確認できるものをご提示ください

お得なペアチケット(2枚セット券) 2,600円[枚数限定]

・販売期間は2025年11月11日(火) 10:00から2026年1月9日(金) 23:59まで
・美術館受付では販売いたしません

・事前購入券は2025年11月11日(火) 10:00から販売開始、公式電子チケット「アンビュー!」、イープラス、ローソンチケット(Lコード:31798)、チケットぴあ(Pコード:687-324)などでお買い求めいただけます
・事前購入券は手数料がかかる場合があります
・各種購入方法の詳細は美術館ホームページをご確認ください

松本竣介 立てる像

1942年
油彩/カンヴァス
162.0×130.0cm
神奈川県立近代美術館
©上野則宏

新宿の街なかで

仁王立ちする画家の姿。
正面に向かって
力強く構える姿は
風格を感じさせます。
しかしながら目は
うつろで、
どこどなく不安感が
にじみます。

SOMPO美術館

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
新宿駅西口より徒歩5分
050-5541-8600(ハローダイヤル)
<https://www.sompo-museum.org/>



今後の状況により、本展の会期や内容の変更、または臨時休館する可能性があります。最新情報は美術館ホームページ等でご確認をお願いします



Shinjuku: the City of Modern Art

https://www.sompo-museum.org

モダンアートの街新宿 iii 章

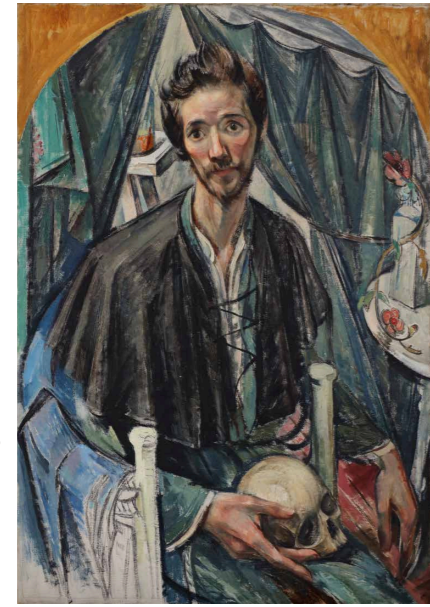
i 章 中村彝と中村屋 ルーツとしての新宿

新宿に創業した中村屋のもとに新進芸術家たちが集い、サロンが生まれました。中村彝をはじめ、中村屋にゆかりの作家を取り上げます。

中村彝 頭蓋骨を 持てる自画像

1923年
油彩/カンヴァス
101.0×71.0cm
公益財団法人大原芸術財団
大原美術館

病気のためにやつれていますが、眼は力強くこちらを見据えます。中村彝の終生にわたる研究が詰まった代表作です。



中村彝
牛乳瓶の
ある静物
1912年頃
油彩/カンヴァス
33.7×45.7cm
株式会社中村屋
©上野別宏

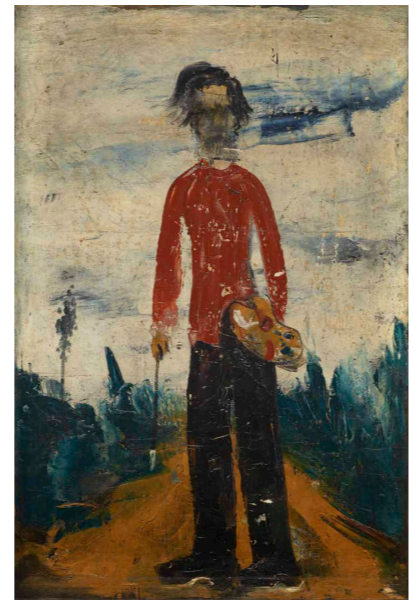
ii 章 佐伯祐三と パリ/新宿 往還する芸術家

佐伯祐三は、パリと新宿を行き来しながら活動しました。アトリエの建つ下落合の風景を描いた作品を中心に展示します。

佐伯祐三 立てる自画像

1924年
油彩/カンヴァス
80.5×54.8cm
大阪中之島美術館

写実的な表現を離れ、シンプルな線で自身の姿をとらえています。堂々とした佇まいですが、表情はうかがうことができません。



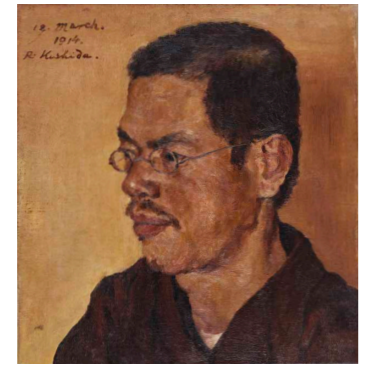
コラム 1 文学と美術

1910年に創刊された雑誌『白樺』を中心に、新宿に生きた文学者や画家たちにゆかりの作品を紹介します。

岸田劉生 武者小路実篤像

1914年
油彩/カンヴァス
38.0×36.5cm
東京都現代美術館

白樺派を代表する作家である武者小路実篤と岸田劉生との深い仲を象徴する肖像画です。



コラム 2 描かれた新宿

1923年に発生した関東大震災からの復興で変貌を遂げた街を描いた版画集『画集新宿』『新東京百景』を中心に、大正から昭和初期の新宿の風景を描いた作品を紹介します。

川上澄生 『新東京百景』より 早稲田大学大隈 侯記念大講堂

1930年
木版/紙
18.0×24.0cm
東京都現代美術館



木村莊八
新宿駅
1935年
油彩/カンヴァス
97.5×130.5cm
個人蔵

松本竣介と 綜合工房 手作りのネットワーク

松本竣介は綜合工房を構え、雑誌『雑記帳』を刊行しました。竣介を中心に、二科会や『雑記帳』で活動をともにした作家たちを取り上げます。



松本竣介
N 駅近く
1940年
油彩/カンヴァス
97.0×131.0cm
東京国立近代美術館

街をさまざまな角度からとらえ、遠近感もまちまちに構成した松本竣介の代表作です。N 駅は西武新宿線の中井駅のことです。

iv 章 阿部展也と 瀧口修造 美術のジャンルを越えて

阿部展也(考文)のアトリエには、瀧口修造を始めとする芸術家たちが集まりました。彼女らの交流は、既存の美術の枠を超えた豊かな作品群を生み出していました。



芥川(潤所)紗織 女

1954年
染色/綿布
131.0×98.4cm
板橋区立美術館

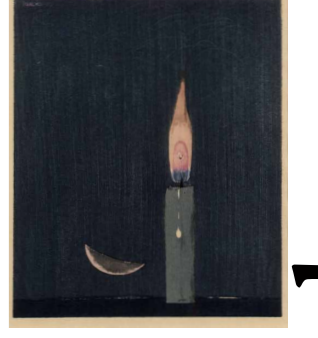
東郷青児 黒い手袋

1933年
油彩/カンヴァス
119.2×68.2cm
SOMPO美術館



エピローグ 新宿と 美術の 旅はつづく

新宿に生まれた版画家・清宮質文。静かな叙情あふれる静謐な清宮の版画によって、本展の幕をとじます。



清宮質文
深夜の蠟燭
1974年
木版/紙
17.8×15.0cm
茨城県近代美術館
照沼コレクション

新宿の街のモダンアート